21世紀をデザインするために

広島大学長　原田康夫

皆さんご入学おめでとうございます。みごとに難関を突破して入学された皆さんは、未来への希望に胸をふくらませながら、ご家族ともどもお喜びのことと思います。心からお祝い申し上げます。

広島大学はあしかけ二十五年かかった統合移転を、この二月、事務局庁舎の完成・移転をもって完全に終了しました。この日本一広い新キャンパスもようやく整備が進み、皆さんの入学を歓迎しています。

今年から我が大学では、新しい教養的教育のカリキュラムが成立し、次の世紀を担う皆さんに提供する用意が整いました。皆さんが社会に出てから、広島大学の卒業生として立派な社会人、国際人になれるよう、外国語と情報リテラシーを十分に修得でき、更に立派な教養人として活躍できるように、全く新しい教養ゼミを行うなど、多様なカリキュラムを準備しています。

今、皆さんは厳しい受験戦争を終えて、広島大学に入学しました。これからは何をするか、次の目標をしっかりと立てなければなりません。さしずめ大学での勉強が皆さんを待っているとはいえ、自分が何を目指すかという目標を設定することが大切です。

二十世紀は間もなく終わりますが、皆さんは二十一世紀に生きる人たちです。皆さんが抱いている理想、願望、希望を具体的な計画に変え、実行することが、未来を創造することであり、皆さん一人ひとりの願望が豊かな未来をつくるのです。そのためにも大学生活において高い知性と感性を磨き、未来へのロマンを見つめて歩まなければなりません。

バブルがはじけ、国際社会においても、近代化の過程におけるさまざまな対立する概念が紛争を巻き起こし、いまだに多くの民族紛争が続いています。近代化は人間の生活向上にはつながりましたが、物的欲望の増大、争奪の中で、人間の本質である精神性が忘れられそうになりました。今こそ二十世紀近代化の功罪を総括して、深い精神性を取り戻さなければなりません。さもなければ二十一世紀はますます多くの混乱を巻き起こし、我々の地球は急速に荒廃していくことになりましょう。

皆さんは一人の地球人として、この地球を愛し、地球の生態系を守り、これからの地球が生き延びるために役立つ人間にならなければなりません。

受験戦争が終わったばかりの皆さんに、このようなことをいうのは唐突のように思えるかも知れませんが、皆さん一人ひとりの自覚が集合してこそ、二十一世紀をより住みやすい世界にするのであります。すなわち、皆さんの願望や希望の集大成が、来たるべき二十一世紀をデザインするのであり、皆さん自身が二十一世紀をつくるのです。

皆さんの長い人生の中で、比較的短い時間を過ごすことになる大学では、私は、単に就職のためのキャリアをつけるというのではなく、自己を見つめ、自分が何をしたいのかを発見する場にしてもらいたいと思っています。大学は自分が一生かけてできることを見つけるところです。自分が「好きなもの」「好きな学問」または「一生かけて歩む方向」を見つければ、皆さんは人生の目標に向って歩き続ける自信を持つことができるでしょう。どうか志を高く持ち、自ら進むべき方向を求めて、これからの大学生活を有意義なものとしてください。

皆さん本日は本当におめでとう。